

# WUOC2016 報告書

2014 年度入学 3 年 小林隆嗣

2016 年 7 月-8 月にハンガリーの Miskolc で開かれました WUOC2016 に日本代表として出場しました小林隆嗣と申します。簡単にですが報告をさせていただきます。

## 1. 渡航まで

自分は WUOC2016 男子出場メンバーの中では最年少でオリエンテーリング経験が圧倒的に少なく、技術的に劣っていると感じていました。国内の対策合宿では、堀田さんや細川さん、松下さんなどのオリエンテーリングしている姿を見て、自分に足りない要素を確認し、良い刺激になりました。また、国内では、自分の持ち味である走力をしっかり磨き大会本戦に臨みました。

## 2. 渡航から本戦まで

開会式の 3 日前からトレーニングキャンプのためにハンガリーに入りました。

ハンガリーに到着後は食事や気候などのチェックをしつつ、ロングのトレーニングテレインを中心にトレーニングを行いました。トレーニングで感じたことはハンガリーの地形としてはカルスト地形の凹地が特徴的であることと、斜面の傾斜変換の地図表現が日本より、わかりにくい（日本ほど誇張して表現されていない。）こと、地形が大味でその斜面には特徴が少なくリロケートしにくいことです。また、植生は、B 藪、C 藪でも容易に通過することが可能であることが印象的でした。

去年自分が経験したノルウェーのテレインと比べると日本のテレインと共通する部分が多いと感じました。

## 3. UWOC 本戦

(1) スプリント決勝 18:30 79 位 (トップ 13:49) トップ比 133%

今回の大会はスプリントに一番重きを置いて出場しました。

調整がうまくいき、大会のプレッシャーにほとんど影響されずに走ることが出来ました。レースは、住宅地エリアと今はホテルとなっているお城のエリアに大別されます。このテレインはスプリントの旧図はなく、住宅地エリアはストリートビューがあったため、事前にチェックしていましたが、お城のエリアは予習をすることなく走ることになりました。

レースは中盤以降のお城の城壁を複雑に回されるエリアで、非常に速いナビゲーションが求められることや、階段などの up にたいへん苦しめられました。この城壁の部分でポストを飛ばしてしまい、痛いミスになってしまいました。

(2) ロング決勝 1:57:57 77位 (トップ 1:23:50) トップ比 140%

ロングは14キロに及ぶもので、これほどまでに長いレースは経験したことがなかったため、ペース配分や補給をしっかりと考えて挑もうと考えていました。

レースは序盤の2→3のロングレグのルートチョイスをミスしたこと以外は大きなミスはしなかったものの、後半まで速いスピードで走り切れなかったことや、細かいあつたツクのミスがタイムに加算されていき、あまり振るわない結果となってしまいました。しかし、ハンガリーでこれほどのオリエンテーリングが出来たことに満足しています。

(3) リレー決勝 祐谷・小林・宮西 2:17:40

スタート時はほとんど他の選手はいなく、一人でのオリエンテーリングをするようになりました。

リレーのトレインはロングと比べ、凹地や藪で見通しの悪いエリアが多いため、技術的に難しいレースだと感じました。チェックポイントの設定がうまくいったため、アタックを比較的スムーズに行え、順調に回ることが出来たのですが、後半、スウェーデン（おそらく3走の選手）が目に入り、あつたツクをつられてしまい2分ほどのミスをしてしまいました。

#### 4. UWOC を終えて

今回のWUOCはレースのミスは悔しいですが、どのレースも自分の実力でできることを淡々とやりきり、そして得られた結果だと思うので満足しています。しかし、海外のトップ選手と比べると自分の実力がまだまだ及ばないと強く感じました。海外のトレインを走ることが出来たことや世界のトップレベルの選手の走りを見ることが出来たなど非常に貴重な経験を積むことが出来たと思います。

自分はまだ21歳のため、今回の経験をともに技術を向上させ、次回のWUOCやWOCなどの舞台で世界と戦えるようなオリエンティアを目指し日々努力していきたいと思えます。

最後に、大西コーチをはじめ、JOAの方々、東北大OLCの部員など多くの方々のご支援ご協力、ご声援をいただきました。心から感謝しています。ありがとうございました。